

～はっけよい、のこった～

10月14日、山王宮日吉神社境内の杉末神社で「赤ちゃん初土俵入」が開催されました。当日はあいにくの小雨模様でしたが、地元に加え、京阪神や中京圏から多くの赤ちゃんとそのご家族が参加しました。

赤ちゃん初土俵入は、江戸時代中期から続く神事で、見えない神様を相手に相撲をとるものです。初めは土俵際まで神様を押し込みますが、より戻されて負けてしまいます。神聖な土俵にしりもちをつくことで元気に育つと言われていきます。

生後6か月から2歳までの赤ちゃん269人が、天橋立や紅葉等が刺繍された化粧回しに紅白のねじり鉢巻で参加。赤ちゃんの健やかな成長を願いました。



赤ちゃん初土俵入

～豊穰へ祈り、踊り、叫ぶ～

10月15日、和貴宮神社で令和元年度秋季例大祭が執り行われました。技芸の上達より豊かな暮らしを祈念するお祭りで、社殿前に設けた舞台では、浦安の舞、神楽舞、蘭陵王といった数多の舞が披露されました。

再来年4月の「和貴宮鎮座六百年祭」に向け行われた3本の大木の伐採により広くなった境内は多くの人で溢れ、夜店の食べ物を片手にご家族、ご友人との会話に花を咲かせていました。

お祭りの締めは大声大会。観覧にきていた子ども達が参加し、舞台正面奥の審査員に向けて力一杯叫びました。祭事が身近で親しいものとなるよう、様々な工夫をされています。



和貴宮神社秋季例大祭

～麒麟がくる～

10月20日、天橋立周辺で開催された丹後きものまつりの会場で、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送に向け開発してきた地域ゆかりの新商品・メニューの発表会が開催され、販売・PRがされました。

新商品・メニューは、9事業所・高校計22商品、3事業所3メニューののぼり、和菓子やクッキー、プリン等の洋菓子に加え、人形やコースター等があります。白藤屋菓子舗の「久世戸松の下」は、きものまつり野点会場で振る舞われました。

今後は、1月の大河ドラマ放映開始に向け市内での新商品の販売拠点の整備や、さらなる商品開発に取り組まれる予定です。



大河ドラマ関連新商品発表会

～自分たちの地域は自分たちで守る～

10月20日、みやづ歴史の館で15回目となる「防災のつどい」を開催し、自治会長や自主防災組織代表等60名が参加。平成16年の台風23号や、直前に起きた台風19号、大地震など近年猛威を振るう自然災害で亡くなられた方々へ黙祷をささげました。

岩田自治連合会長は「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災意識をはぐくむ「災害に強いまちづくり市民宣言」をされました。

また、京都府との共催による研修会では、龍谷大学政策学部石原凌河准教授による講演「地域住民主体による地区防災計画」を聴き、住民主体による地域防災体制構築の重要性について理解を深めました。



防災のつどい

みかん狩りスタート

～ 何個食べるか競争だ！ ～



10月21日、由良みかん狩り組合の組合員が経営する農園で、みかん狩りの安全祈願と由良地域自慢の味を楽しんでもらおうと「みかん狩り祭り」が開催され、栗田小学校1、2年生の児童と、はまなす園の皆さんがみかん狩りを楽しみました。

参加した児童たちは、組合員の岸田八重子さんからみかんの摘み方を教えてもらった後「好きだけ食べていいよ」の声で一斉に収穫を開始。友達と食べる個数を競ったり、熟したみかんを選んで食べたり、みかん狩りを楽しめました。「30個も食べたよ」という児童も。また、お持ち帰り用の袋には家族へのプレゼントにと、秋の味覚を詰め込みました。

由良オリーブ祭

～ 秋の実りに感謝して～



10月27日、上石浦地区にある由良オリーブ園周辺で、収穫への感謝とオリーブの味を楽しんでいただく「由良オリーブ祭」が開催され、オリーブ茶、オリーブ新漬やオリーブごはん・餅をはじめ地域の特産品などが販売されました。

会場は、商品を買求める方や一段と大きく成長したオリーブの樹を觀賞される方、オリーブごはんや豚汁をほおぼる地域住民や観光客で賑わいました。

今年の宮津産オリーブオイルは、11月中旬から販売を開始しています。

【商品のお買い求め】
問 由良オリーブを育てる会
TEL 080・9301・7890

災害時対応実地訓練

～ 非常電源による給油～



10月27日、災害時緊急車両給油拠点である株式会社三洋商事宮津給油所において、災害時対応実地訓練が府内で初めて行われ、京都府石油商業組合関係者約60人が参加しました。

本訓練は、発災直後の安全確保や非常電源（発電機）に切り替えて緊急車両へ給油を行う等、災害時給油体制の一連の手順を実践・確認するもので、緊急車両であるパトカーや消防車、救急車に加え、全国で初となる自衛隊車両も参加しました。

京都府石油商業組合の高橋さんは「給油所は社会インフラとして非常に重要な役割を担う。災害時でも給油ができるよう訓練が必要」と重要性を話されました。

シルバーボランティア活動

～ 経験生かすボランティア～



宮津与謝広域シルバー人材センターでは、就業を通じた高齢者の生きがいづくりと地域社会への貢献を目指すシルバー事業へのご理解とご協力をいただくため、全国のシルバー人材センターで一斉に取り組まれる毎年10月の「シルバー事業普及促進月間」に合わせて、ボランティア活動に取り組みられています。

今年は、南部地域の会員の方が10月30日に市役所周辺で、北部地域の会員の方が11月7日に府中公園で除草、剪定等を行っていただきました。

市役所周辺では、約30人の会員の方が庭木の剪定や落ち葉等の掃き掃除、除草など、それぞれの得意分野を生かして手際よく作業を進められ、2時間ほどで市役所中庭や大手川沿いの歩道をきれいにいただきました。

安全でおいしい水をいつまでもお届けするために

水道使用料金を等を審議しています

なぜ水道使用料金を等を審議するのか

宮津市の水道を取り巻く環境は、給水人口の減少に伴う料金収入の減少が続く中、老朽化施設等の更新需要に対応していかなければならない非常に厳しい局面を迎えようとしています。

これまで市民の皆さんの生活や経済活動を支えてきた水道の恩恵をこれからも享受できるように、水道事業の健全な経営を図るため、水道使用料金の見直しについて、宮津市水道使用料金を等審議会に諮問しました。

「審議の詳細」は、宮津市 HP からご覧いただけます。



「宮津市水道事業ビジョン」は、宮津市 HP からご覧いただけます。



☎ 上下水道課管理係
TEL 45 - 1633



第1回審議会 / 令和元年8月22日

【審議内容】

- ・水道事業の現況と施設整備計画について

【主な意見】

- ・水道事業の最も重要なことは「安全で安心な水」を市民に供給することであり、料金改定を行わない結果、水の供給ができないといったことになるのは本意ではない。
- ・宮津市の水道事業の現状を理解すれば、料金改定が必要なこともある程度理解できる。市民に料金改定の必要性を理解してもらうことが最も大事なこと。広報のあり方も含め、その点を重視していただきたい。

第2回審議会 / 令和元年10月2日

【審議内容】

- ・経営戦略と今後の収支見直し
- ・水道使用料金の見直し

【主な意見】

- ・現状の料金のまま経営をしていくと破綻するということは理解したうえで料金改定率をどうするかを議論する必要がある。市民の負担増の影響を考慮しなければならない。
- ・公衆衛生の視点で考えると、水道は行政に管理していただくのが安心である。その水道を維持していくために料金が上がることはいたしかたないと思う。市民全員で協力していく問題だろう。

広告

※広告内容など市が推奨するものではありません。

あらゆるカギの複製
なくす前にもう一本!!



宮津カーショップ

宮津市字獅子崎144-46
Tel: 0772-22-5148
休業日: 日曜日・祝日

社寺・一般住宅屋根瓦施工
“屋根の事なら”

京都府瓦工事協同組合
京都北瓦工事組合加盟店

有限会社 森瓦店

植木鉢瓦 販売中 (一級瓦葺技能士・瓦屋根診断技士
瓦屋根工事技士・職業訓練指導員)

宮津市田井599番地
TEL 0772-22-5683
FAX 0772-22-7305
E-mail morika7@ceres.ocn.ne.jp
(倉庫)宮津市滝馬706番地の1
TEL 0772-22-4511

ベッド、電動ベッド40機種
展示中! 寝くらべできます!



送迎は、お気軽にお電話ください。

家具 インテリア 山口

宮津市獅子崎119-2
☎0772-22-3748

図書館特集

読書を通じた交流を推進するため、様々な取り組みを行っています。

☎ 宮津市立図書館 ☎ 22-2730

ナイトライブラリー

7月25日に、市内の小学生18人が「宮津市立図書館ナイトライブラリー」に参加しました。本年度から始まったナイトライブラリーは、夜の真っ暗な図書館の中を職員の案内を聞きながら探検し、図書館の本を使ったクイズに挑戦するイベントです。

最後に図書館長から参加者全員に「図書館マスター認定証」が授与され、参加した子ども達は、普段は見られない図書館の姿を見ることができ、とても満足した様子でした。

* 第2回ナイトライブラリー *

☎ 12月26日(木)

第1部 16:30～17:30

☎ 小学1～3年生 定 15名

第2部 18:00～19:00

☎ 小学4～6年生 定 15名

所 宮津市立図書館 料 無料

※注意事項 参加には保護者の同意と図書館までの送り迎えが必要です。

受 12月15日(日)までに宮津市立図書館まで申し込みください。

図書館講座

昨年度から市民生活や地域課題の解決に役立つサービスの充実を図るため、図書資料を活用した図書館講座を開催しています。

8月25日に開催した第1回では「宮津の魚とその未来」と題し、宮津で漁師をされている本藤靖さんから宮津の魚介や資源管理型漁業についてお話を伺いました。意見交流の時間には参加者から意見や質問が活発に出されました。

10月13日に開催した第2回では「命のチカラいただきます～食の選択は生き方の選択～」と題し、㈱ハマカゼプロジェクトのパティシエ・井上美津江さんに、健康的に生きるための食生活についてお話を伺いました。井上さんが調理された出汁の試飲会も行われ、香り高く旨みの深い出汁の味に参加者は驚かれていました。どちらの講座とも、参加者から大変好評をいただきました。

図書館サークル

本年度から図書館が出会いと交流の場となることを目指して、図書館サークルを開催しています。図書館サークルは本が好きな人同士で集まって、読んだ本をおすすめしたり、本について語り合うサークルです。

9月14日開催の第1回は8人の会員が参加され、各自おすすめの本を持ち寄り、その本についての内容やおすすめポイントを紹介していただきました。それぞれジャンルの違う本が集まり、新しい本との出会いとなりました。

* 第4回図書館サークル *

☎ 12月7日(土)

14:00～16:00

☎ 高校生以上 定 15名

所 宮津市福祉・教育総合プラザ3階第2コミュニティルーム

内 「富嶽百景」太宰治著(出版社はどこでも可)を読み、話し合う。

受 事前に宮津市立図書館まで申し込みください。



宮津高校・宮津中学校の生徒から積み木の寄贈を受けました



10月31日、宮津高等学校と宮津中学校の生徒の皆さんが共同で製作された「積み木」の寄贈式を宮津市立図書館で行いました。

寄贈をいただいた積み木は、中高連携の一環として中学生が高校生から指導を受け製作したもので、今までに製作されたものは、幼稚園や子ども園等に寄贈されています。

今回、寄贈いただいた積み木は、図書館内のおはなしコーナーに設置しており、図書館を利用する子ども達に楽しまれています。

夢と希望があふれ 住み続けられるまち に向けて

新宮津市総合計画を策定します

☎ 企画課企画政策係 ☎ 45 - 1664

総合計画とは

地方自治体の全ての計画の基本となり、地域づくりの最上位に位置づけられる計画で、長期展望をもつ計画的、効率的な行政運営の指針が定められるものです。

※新総合計画の期間は、令和3年度から令和12年度の10年間です。

どうやって作るの？

市民の皆さんと宮津市の将来像について意見を出し合いながら共有していくと共に、ニーズを把握し新総合計画に反映させるため、幅広く意見交換会を開催していきます。

※詳しくは下記をご覧ください。

今後のスケジュール

- R1.11 ~ 将来像共有に向けた意見交換
- R2.05 ~ 策定委員会（仮）立上げ、中間案の策定
- R2.12 ~ 住民説明会（各地区）、パブリックコメント
- R3.03 新宮津市総合計画策定
- R3.04 ~ 新総合計画に基づく市政運営

新宮津市総合計画の策定に向けた意見交換会を行います

①市民の皆さんと考えるタウンミーティング【参加自由、事前申込】

5つの分野（テーマ）毎に3回ずつのワークショップ方式で実施

- ・商工・観光・農林水産業分野（予定）
- ・定住施策分野、UIターン・子育て支援分野（予定）
- ・福祉分野、インフラ・防災分野（予定）
- ・教育分野（予定）
- ・文化・環境保全分野（予定）

全てのワークショップ実施後に全体のシンポジウムを行います。

②関係団体との意見交換会

各分野を代表する団体との意見交換会を随時実施

③様々な分野・世代の皆さんと考える「ふれあい座談会」

子育てグループ、高校生や中学生、女性会等との意見交換会

④どこでも市長室

住民等団体の申し出に応じて意見交換を実施（広報みやづ10月号参照）

※①～③の実施日につきましては、別途お知らせいたします。

わたし達がついています

～今月の生産者さん～

宮津で作ったへしこは美味しいよ！そのままはもちろんいろんな料理に使ってみてー！！



佐田野さん

道の駅海の京都宮津
宮津まごころ市 (営業時間) 9:00～17:00

今月の旬：へしこ



へしこは鯖や鰯を塩で下漬けしてから、糠と塩で本漬けた保存食。保存のために塩を使うので塩分が多い。血圧が高めの人や、腎機能が低下している人は、量や頻度に気をつけること。糠を使用することで、糠に含まれるビタミンB1、B2が摂れる。塩分が気になる人は食べる前に糠を落とし、水に5分程度浸すと良い。発酵食品なので、たんぱく質が分解されて旨みが増し、ペプチドを多く生成している。乳酸発酵により、乳酸菌を多く含む。糠ごと焼いて食べると良い。



温野菜のへしこソース

材料(4人分) (一人分エネルギー 238kcal、塩分 1.0g)

- ブロッコリー..... 小 1個
- カブ..... 2個
- にんじん、白ネギ..... 1本
- さといも..... 4個
- へしこ..... 20g
- にんにく..... 1片
- すし酢、レモン汁..... 大さじ2
- オリーブオイル..... 大さじ4
- きざみパセリ..... 大さじ1 (3g)
- ブラックペッパー..... 適量

作り方

- 1 ブロッコリーと白ネギは食べやすく切る。カブ・にんじん・さといもは皮をむき、食べやすく切る。
- 2 切った野菜を蒸す(または茹でる)。
- 3 へしこは焼いて皮と骨を取り除き、細かくほぐす。
- 4 フライパンにオリーブオイル大さじ1とみじん切りにしたにんにくを加え、香りがたつまで弱火で炒め、3のへしこを加えて炒め合わせる。香ばしくなったら火を止める。
- 5 4にすし酢を加え混ぜ、レモン汁、パセリ、残りのオリーブオイルを加えてさらに混ぜて、ブラックペッパーを加えて、ソースのできあがり。

へしこクッキー

材料(4人分) (一人分エネルギー 184kcal、塩分 0.4g)

- 小麦粉..... 100g
- へしこ..... 20g
- 白ワイン(日本酒でも良い)..... 小さじ2
- ガーリックパウダー、ドライパセリ..... 小さじ1/2
- ブラックペッパー..... 少々
- オリーブオイル..... 30g

作り方

- 1 へしこは焼いて皮と骨を取り除き細かくほぐし、白ワインをまぶす。
- 2 ボウルにオリーブオイル、ガーリックパウダー、ドライパセリ、ブラックペッパー、へしこを加えてよく混ぜる。
- 3 2に小麦粉を加えて混ぜる。まとまらない場合は白ワインを加えてまとめる。
- 4 厚さ5mm程度にのばして食べやすく切るか、型抜きする。180℃のオーブンで20分ほどきつね色になるまで焼く。

次回12月号は冬の野菜特集を掲載予定です

協力：道の駅海の京都宮津 おさかなキッチンみやづ(水曜定休)
HAMAKAZE Cafe (営業時間) 9:00～23:00(火曜は17:00まで)
山一水産 (営業時間) 9:00～17:00

※道の駅では、5種類のへしこを取り扱っています！
シブタニ、浜文、三宅商店、山一水産、陽洋丸

10月13日(日)、今年で13回目を迎える「和火 2019」が開催されました。台風の影響等で1日のみの開催となりましたが、約5,000の方が来場され、大いに賑わいました。

寺町界隈のお寺でたくさんの催しが行われ、亀ヶ丘児童遊園の模擬店ブースでは各店舗に大行列ができるなど大盛況。おなじみになった手作り灯ろうや和傘灯



ろうなどによるお寺や通りのライトアップが秋の夜を優しく照らしました。

寺町周辺の自治会の皆さんをはじめ、幼稚園、小学校・中学校・高校、企業などたくさんのボランティアの方のご協力により、市民参加型の愛されるイベント

として定着した和火。年々規模が大きくなったことから、今回はボランティアの人数に見合う規模での開催となりました。

今後も支援や協力の輪が広がることにより、来年以降も開催されることを願っています。

丹後きものまつり in 天橋立



10月20日(日)、今年で20回目を迎える秋の恒例イベント丹後きものまつり in 天橋立が開催されました。

暖かい秋日和の中、きもの姿の多くの方々が、各所に設置された撮影パネルを使っ

ての写真撮影、スタンプラリー、人力車、野点を楽しみました。

きものパレードでは、プリンセス天橋立の3人を先頭に約150人の方々が天橋立公園内を練り歩き、観光客も圧巻のパレードとなりました。

天橋立ホテルでは、迫力満点の浦嶋

太鼓や華やかなちりめん小唄の踊りが披露され、また恒例となったファッションショーでは、令和元年に相応しい皇室の袴姿の装束の着付け実演を披露されました。

約800人が参加したきものまつりは、着物を着る機会の創出と、楽しい観光地づくりのために、これからも着物×天橋立の魅力あるイベントとして発信し続けられます。



日本三景天橋立ふゆ花火



© Sky Vision Pro TV

午後7時30分、会場内のカウントダウンに合わせ、羽瀨ふゆ花火実行委員長、城崎市長、石坪成相寺住職による点火により打ち上げがスタート。

約2,000発の海上花火により秋の夜空は彩られ、その美しさに酔いしれました。



10月27日（日）、今年で15回目を迎える「日本三景天橋立ふゆ花火」が開催され、約10,000人の方が鑑賞されました。

薄暗くなり始めた午後5時、ふゆ花火恒例となった花火前ライブでは、府

中子ども園そら組の年長児12人によるパプリカの曲にあわせた「タイコ de ダンス」が披露され、その後、全国各地のライブで天橋立をPRする河嶋浩司さんらによる演奏が会場を盛り上げました。



丹鉄ふれあいまつり

～ 丹鉄でおいで～な！～

11月2日（土）、秋晴れの空のもと、京都丹後鉄道与謝野駅で「丹鉄ふれあいまつり」が開催され、多くの家族づれや丹鉄ファンで賑わいました。

当日は、新型車両KTR300形の運転操作やアナウンス体験、保線車両の乗車体験など、丹鉄車両の展示・体験に加え、沿線各地のゆるキャラショーや山田保育所による踊りの披露、バンドライブなど、盛りだくさんの催しものした。

中でも人気が高かったのが保線車両の乗車体験で、順番待ちの列が途絶えないほど。子どもやお父さんが乗り込み、それをお母さんが撮影する、子どもの楽しそうな表情やその光景が遊園地のようなものでした。

午後2時半からは、丹鉄オークションが開催。観光列車のヘッドマークなどが出品され、丹鉄ファンは希少な鉄道の放出品の競りに盛り上がりました。

イベントの主催である京都丹後鉄道利



用促進協議会会長の城崎市長は「丹鉄ふれあいまつりが京都丹後鉄道を利用するきっかけになれば」と話され、WILLER TRAINS 株式会社寒竹代表取締役は「丹鉄をWILLER TRAINSと京都丹後鉄道利用促進協議会で盛り上げていきたい。本

日はONE TEAMでイベントを開催できたと思う」とその思いを話されました。

これからも「乗って守ろう！私たちの公共交通」を合言葉に、環境にも優しい公共交通機関を利用することで守っていく取り組みを進めましょう。